

# 糖尿病治療が変わる!?

昨年夏、3年ぶりに欧州を訪ねた加藤秀樹さん(仮名、48歳)はイギリシ人の友人の表情が明るくなっているのに気がつきました。重い糖尿病に苦しんでいた友人は食事が終わると腕に張り付けたセンサーにセンサーをかざすだけでいつでも自己血糖を測定できる装置が登場。専門家の間で「糖尿病治療を変える」と話題になっているという。

## 2週間いつでも測定できる

## 「血をみない」新型自己血糖測定器

「そのセンサーをつけて取ることで、8時間ごとにも専用の読み取り器にスキャンすれば24時間を近づけるだけでその自己血糖値を測れる。た。と大喜びでした」

「そのセンサーをつけて取ることで、8時間ごとにも専用の読み取り器にスキャンすれば24時間を近づけるだけでその自己血糖値を測れる。た。と大喜びでした」

「そのセンサーをつけて取ることで、8時間ごとにも専用の読み取り器にスキャンすれば24時間を近づけるだけでその自己血糖値を測れる。た。と大喜びでした」



### 痛い 時間がかかる 面倒くさい からオサラバ

か、下降トレンドにあるのかも表示してくれるという。これなら、大きな血糖値の乱れを予測して、薬を調節するなどの手を打つことができる。お風呂や水泳をするときでもセンサーを取り外す必要はない。センサーは5センチのフィラメントが一本突き出ていて、それを上腕部に刺すだけ。痛みはほぼ感じないというから驚きだ。

しかも、欧州では読み取り器とセンサーセットで2万円前後で発売されているという。

皮膚が弱い人などはセンサー装着箇所がかぶれるなどの副作用。はあるものの、利便性が大きく上回る。

実際、2年前に英国から個人輸入して使用しているという眼科医が言う。

「血糖値が跳ね上がるパターンがわかるので、投薬がより適正化され、インスリンなどの薬の量が減った、という患者さんもいます。日本での早期導入を望む糖尿病患者さんは少なくありません」

厚生労働省の「患者調査」によると、日本の糖尿病患者数は316万6000人。日本での発売は未定だ。